

吉賀町給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況(普通会計決算)

区分	住民基本台帳人口 (H24年度末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) H23年度の人件費率
	人	千円	千円	千円	%	%
H24年度	6,757	6,716,552	237,325	949,975	14.1	15.6

(2) 職員給与費の状況(普通会計決算)

区分	職員数 A	給与費				(参考)一人当たり 給与費 B/A	(参考)類似団体平均 平均一人当たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
	人	千円	千円	千円	千円	千円	千円
H24年度	91	372,253	140,413	134,960	647,626	7,117	5,608

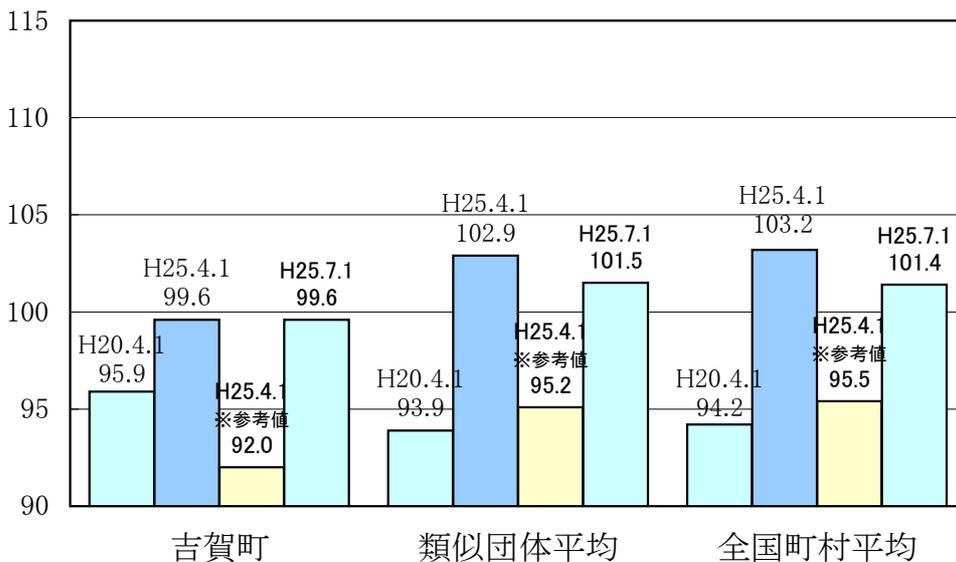
- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。
 2 職員数は、平成24年4月1日現在の人数である。
 3 給与費については、任期付短時間勤務職員(再任用職員(短時間勤務))の給与費が含まれており、職員数には当該職員を含んでいない。

(3) 特記事項

(給与減額の状況)

国の要請等を踏まえた減額措置の取組	減額実施期間又は減額を実施していない場合はその理由
実施せず	財政健全化を目的として給与減額措置を実施
抑制済又は減額措置の内容	
(給料) 期間:平成25年4月1日から平成25年10月31日まで 一般職: 1、2級 6.5%減額 3、4級 8.5%減額 5、6級 10%減額 ラスパイレス指数 : (4/1) 99.6 ※参考値 92.0 特別職: 町長 20%減額 副町長 15%減額 教育長 10%減額 (手当)	
(その他)	

(4) ラスパイレス指数の状況(各年4月1日現在)



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数(構成)を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表(一)適用職員の俸給月額を100として計算した指数。
 2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。
 3 「参考値」は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定・臨時特例法による給与減額措置がないとした場合の値である。

(5) 給与改定の状況

①月例給

区 分	人事委員会の勧告				給与改定率	(参考) 国の改定率
	民間給与 A 円	公務員給与 B 円	較差 A-B 円 (%)	勧告 (改定率) %		
H25年度						改定なし

(注) 「民間給与」、「公務員給与」は、人事委員会勧告において公民の4月分の給与額をラスパイレース比較した平均給与月額である。

※ 人事委員会を設置していないため記載無し。

②特別給(期末・勤勉手当)

区 分	人事委員会の勧告				年間支給月数	(参考) 国の年間 支給月数
	民間の支給 割合 A 月	公務員の 支給月数 B 月	較差 A-B 月	勧告 (改定月数) 月		
H25年度						3.95

(注) 「民間の支給割合」は民間事業所で支払われた賞与等の特別給の年間支給割合、「公務員の支給月数」は期末手当及び勤勉手当の年間支給月数である。

※ 人事委員会を設置していないため記載無し。

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況(平成25年4月1日現在)

①一般行政職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
吉賀町	43.7 歳	309,836 円	377,477 円	341,553 円
島根県	44.3 歳	339,401 円	410,701 円	366,192 円
国	43.1 歳	307,220 円 (332,446) 円	—	376,257 円 (405,463) 円
類似団体	42.6 歳	313,668 円	355,898 円	343,403 円

(2) 職員の初任給の状況(平成25年4月1日現在)

区 分	吉賀町	島根県	国
一般行政職	大学卒	172,200 円	171,890 円 (172,200)
	高校卒	140,100 円	139,847 円 (140,100)
技能労務職	高校卒	140,100 円	146,435 円 — 円
	中学卒	135,600 円	— 円 — 円

(注) 括弧書きは、給与改定特例法による措置がないとした場合の値(減額前)である。

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況(平成25年4月1日現在)

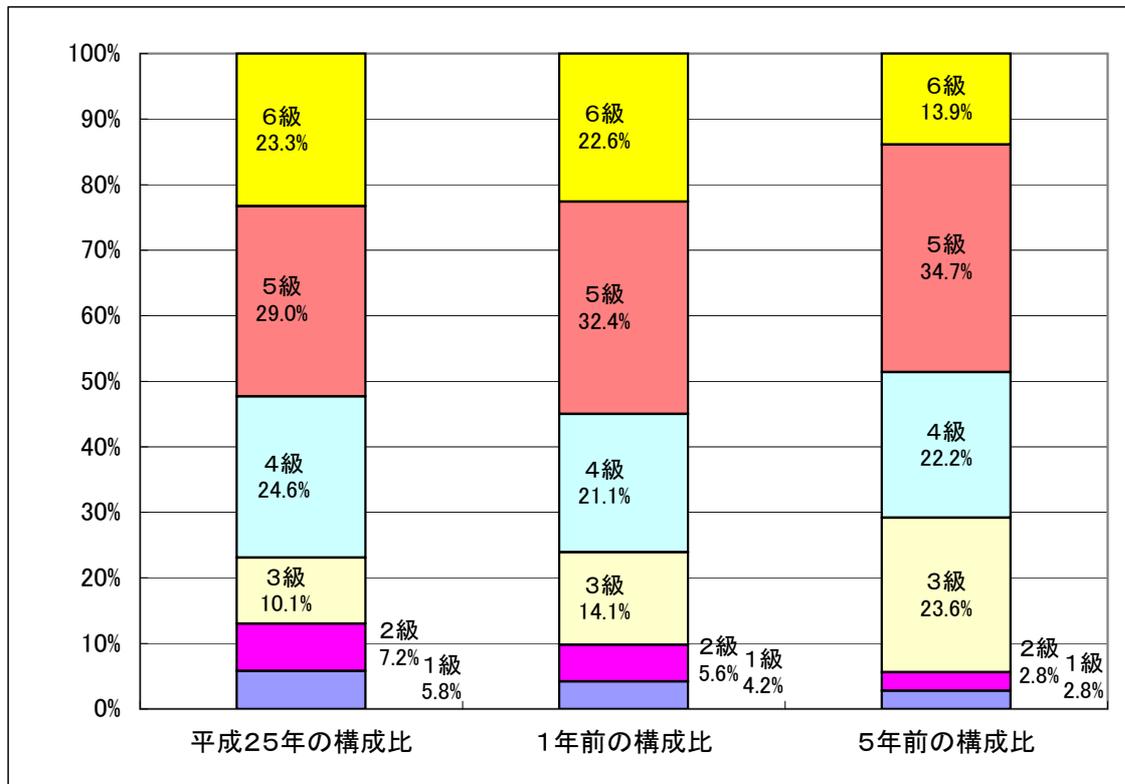
区 分	経験年数10年	経験年数20年	経験年数25年	経験年数30年	
一般行政職	大学卒	244,946 円	322,080 円	— 円	359,910 円
	高校卒	— 円	— 円	328,028 円	— 円
技能労務職	高校卒	— 円	— 円	— 円	— 円
	中学卒	— 円	— 円	— 円	— 円

3 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況(平成25年4月1日現在)

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比	1号給の給料月額	最高号給の給料月額
1級	主事補、主事	4人	5.8%	135,600円	243,700円
2級	主事	5人	7.2%	185,800円	309,200円
3級	主任	7人	10.1%	222,900円	356,400円
4級	主幹	17人	24.6%	261,900円	390,100円
5級	課長補佐	20人	29.0%	289,200円	402,500円
6級	課長	16人	23.3%	320,600円	424,600円

- (注) 1 吉賀町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。
 2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。
 3 給料月額は、給与抑制措置を行う前のものである。



(2) 昇給への勤務成績の反映状況

なし

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

吉 賀 町	島 根 県	国
1人当たり平均支給額(H24年度) 1,481 千円	1人当たり平均支給額(H24年度) 1,459 千円	—
(H24年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.35 月分 (1.45)月分 (0.65)月分	(H24年度支給割合) 期末手当 2.40 月分 勤勉手当 1.30 月分 (1.25)月分 (0.70)月分	(H24年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.35 月分 (1.45)月分 (0.65)月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・ 役職加算 5~10%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・ 役職加算 5~20% ・ 管理職加算 15~25%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・ 役職加算 5~20% ・ 管理職加算 10~25%

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

【参考】 勤勉手当への勤務実績の反映状況(一般行政職)

なし

(2) 退職手当(平成25年4月1日現在)

吉 賀 町			国		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年	(支給率)	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	23.0300 月分	28.7875 月分	勤続20年	##### 月分	28.7875 月分
勤続25年	32.8300 月分	38.9550 月分	勤続25年	##### 月分	38.9550 月分
勤続35年	46.5500 月分	55.8600 月分	勤続35年	##### 月分	55.8600 月分
最高限度額	55.8600 月分	55.8600 月分	最高限度額	##### 月分	55.8600 月分
その他の加算措置			その他の加算措置		
			定年前早期退職特例措置		
1人当たり平均支給額	26,306 千円			(2%~20%加算)	

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、24年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3) 地域手当(平成25年4月1日現在)

※ 制度なし

支給実績(H24年度決算)			千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(H24年度決算)			円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度(支給率)	
	%	人	%	

(4) 特殊勤務手当(平成25年4月1日現在)

支給実績(H24年度決算)	56 千円			
支給職員1人当たり平均支給年額(H24年度決算)	14,000 円			
職員全体に占める手当支給職員の割合(H24年度)	4.0 %			
手当の種類(手当数)	1			
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績	左記職員に対する支給単価
除雪車乗務手当	建設水道課職員	グレーザー及び除雪用ジープの運転に従事した職員	56千円	日額 2,000円

(5) 時間外勤務手当

支給実績(H24年度決算)	31,314 千円
職員1人当たり平均支給年額(H24年度決算)	348 千円
支給実績(H23年度決算)	30,041 千円
職員1人当たり平均支給年額(H23年度決算)	334 千円

(6) その他の手当

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (H24年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (H24年度決算)
扶養手当	配偶者 13,000円 配偶者以外の扶養親族 6,500円 (配偶者がいない場合は11,000円) 特定期間(満16歳年度初め～満22歳年度末)の子5,000円加算	同じ	—	14,164 千円	262,298 円
住居手当	賃借住宅 家賃が12,000円を超える場合には支給 支給限度額27,000円	同じ	—	3,023 千円	201,533 円
通勤手当	公共交通機関利用者 実費 限度額55,000円 交通用具使用者 片道2km以上の場合に 通勤距離に応じて支給 2,400円～32,800円	異なる	交通用具使用者の 通勤距離区分及び 加算方法が異なる	11,287 千円	131,247 円
管理職手当	課長・室長・所長・教育 次長・議会事務局長 41,600円/月	異なる	国(俸給の特別調整額)は役職に応じ定額支給	4,992 千円	499,200 円
休日勤務手当	支給額 休日勤務時間数×勤務1時間当たりの給料額×135/100	異なる	勤務1時間当たりの給料額の算出方法が異なる	0 千円	0 円
夜間勤務手当	正規の勤務時間として 午後10時から翌日の午前5時までの間に勤務したときに支給 支給額 時間外勤務時間数×勤務1時間当たりの給料額×25/100	異なる	勤務1時間当たりの給料額の算出方法が異なる	0 千円	0 円
宿日直手当	職員が宿日直勤務を行う場合に支給 宿日直手当4,200円	同じ	—	1,004 千円	12,241 円

5 特別職の報酬等の状況(平成25年4月1日現在)

区 分		給 料	月 額	等
給 料	市 区 町 村 長	518,400 円 (648,000 円)	(参考)類似団体における最高/最低額 807,500 円/ 363,200 円	
	副 町 長	464,780 円 (546,800 円)	670,100 円/ 365,000 円	
報 酬	議 長	259,700 円 (— 円)	364,000 円/ 220,000 円	
	副 議 長	216,000 円 (— 円)	285,000 円/ 168,100 円	
	議 員	183,200 円 (— 円)	263,000 円/ 135,800 円	
期 末 手 当	市 区 町 村 長 副 町 長	(H24年度支給割合) 2.95	月分	役職加算 10%
	議 長 副 議 長 議 員	(H24年度支給割合) 3.35	月分	役職加算 10%
退 職 手 当	市 区 町 村 長	(算定方式) 648,000円×在職年数×4.5	(1期の手当額) 11,664,000円	(支給時期) 在任期間ごと
	副 町 長	546,800円×在職年数×2.7	5,905,440円	在任期間ごと
備 考				

(注) 1 給料及び報酬の()内は、減額措置を行う前の金額である。

2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額である。

6 職員数の状況

(1)部門別職員数の状況と主な増減理由

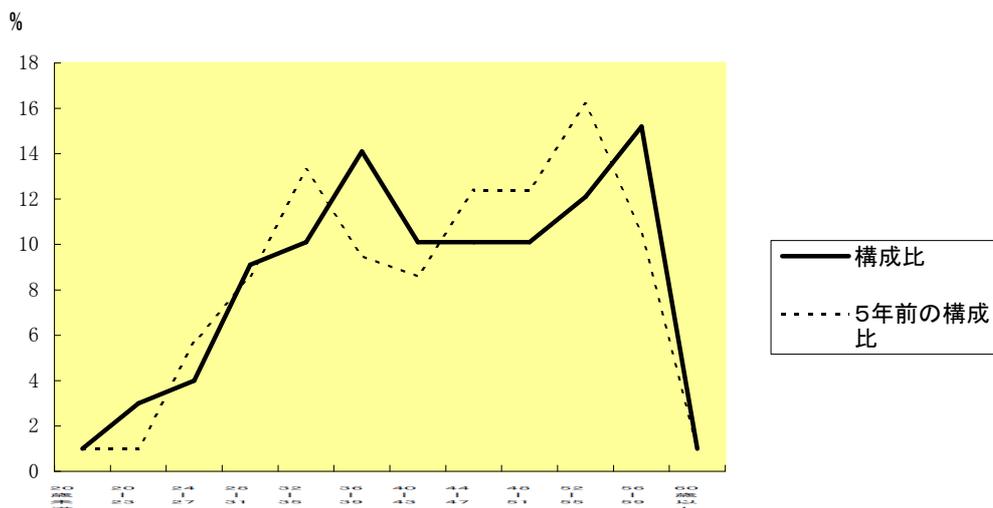
(各年4月1日現在)

部 門	区 分	職 員 数		対前年 増減数	主 な 増 減 理 由	
		平成24年	平成25年			
普 通 会 計 部 門	一 般 行 政 部 門	議 会	1 人	1 人		
		総 務	27	27		
		税 務	6	6		
		民 生	12	11	▲ 1	職員の復職に伴う配置換
		衛 生	9	9		
		労 働	1	1		
		農林水産	15	14	▲ 1	休業等に伴う配置換
商 工	2	2				
土 木	5	5				
	計	78	76	▲ 2	<参考> 人口1万人当たり職員数 112.47 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 122.42 人)	
	教育部門	13	13			
	小 計	91	89	▲ 2	<参考> 人口1万人当たり職員数 131.71 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 149.73 人)	
公 営 企 業 等	水 道	3	3			
	下 水 道	2	2			
	そ の 他	5	5			
	小 計	10	10			
合 計		101	99	▲ 2	<参考> 人口1万人当たり職員数 146.51 人	
		[114]	[114]	[]		

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。

2 []内は、条例定数の合計である。

(2)年齢別職員構成の状況(平成25年4月1日現在)



区分	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳	36歳～39歳	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳	56歳～59歳	60歳以上	計
職員数	1人	3人	4人	9人	10人	14人	10人	10人	10人	12人	15人	1人	99人

(3)職員数の推移

(単位:人・%)

部 門 \ 年 度	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	過去5年間の増減数(率)
一般行政	79	77	79	79	78	76	▲3 (▲3.8%)
教育	14	14	13	13	13	13	▲1 (▲7.1%)
普通会計計	93	91	92	92	91	89	▲4 (▲4.3%)
公営企業等会計計	12	13	12	10	10	10	▲2 (▲16.7%)
総合計	105	104	104	102	101	99	▲6 (▲5.7%)

(注) 1 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。

2 合併した団体にあつては、合併前の年については合併前の旧団体の合計職員数。